

2019年度 こども園 アサンプション国際幼稚園 幼稚園評価報告書

1 2019年度活動テーマ

「子どもの自立・自己呼应定款を高める保育」
人格形成の大切な幼少期に、様々な体験を通して子どもが遊びの中から学び、強く優しい体と心を育む。

2 重点取組内容

1. 教育事業
2. 教育環境の整備
3. 社会連携・奉仕事業
4. 募集・入試に係る事業

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [2020年2月実施分]	学校評価委員会からの意見
<p>○保護者 昨年度2月に保護者向けアンケートを実施した。</p> <p>・子どもの自主性を重んじる保育とは何か、各行事ごとにねらいと目的を明確にしてきた。これに対し、保護者の方からは賛同いただける意見は多数あった。一方で、行事や保育内容について、以前よりも「ボリュームがなくなった」「簡素化されているのではないか」といったご意見もいただいた。子どもたちが自ら考え、行動に移していく過程を大切にしていく保育は、時間を要することも多く、カリキュラムの組み方なども工夫していることをよりわかりやすく保護者に伝え、理解を求めていく必要がある。</p> <p>・外遊びの時間を増やしてほしいとの要望が多数あった。箕面市の通知で晴天でも暑さ指数が28度以上の日は熱中症危険指数が高いので外遊びが禁止となる。保護者の方にも、理解を求める必要がある。</p>	<p>2019年度 幼稚園 父母の役員様より</p> <p>・様々な立場の家庭がある状況かで、多方面から検討し、改革に取り組んでいることは素晴らしい。</p> <p>・縦割り保育を活かして、異年齢との関わりを多く持つ経験をしたことは子どもにとって大変良かった。</p> <p>・季節ごとの行事や地域の特徴的な祭りなども大切に、取り組んでいることはとてもよい。</p> <p>・保育内容については「簡素化、ボリュームがない」等の意見に対し、限られた保育時間内でより効率的に子どもたちに伝える努力がなされていると思われる。一方でそれを保護者と共有できておらず、不明確な点が多いと感じることがあり、改善が必要であると思われる。</p>

・教員のモンテッソーリ教育のスキル向上と言葉遣いを丁寧にする事について要望があった。研修等実施しながら、向上できるよう努める。

・昨年に引き続き、こども園でありながら、まだまだ、学校行事や教育活動における保護者の負担が大きいと感じている意見が多数あった。また、駐車場の数に限りがあり、利用しにくいことや、スクールバスの運行についても、保護者の負担が減るように増便を求める意見があった。可能な限りで駐車場利用の許可やスクールバスの運行回数を増やせないかが今後の課題である。

○教員

年度末に総括会議を実施した。

・昨年度同様、保育者が主導で保育をするのではなく、子どもが主体的に取り組むような活動（生活発表会）を増やした。子どもたちがそれぞれの個性を活かしながら、笑顔で活動する姿が見ることができた。今後も教育要領の改訂に伴う園の取り組みを教員全員が理解し、それに向かうことが必要である。

・新型コロナウイルスの影響により、2月末からの保育が平常通り実施できなかった。卒園式や修了式などが中止になり、これまでとは違う形での実施となった。保育において「密」は完全には防ぐことはできないが、感染拡大防止への取り組みは、今後一層強化していく必要がある。

・こども園へと移行し園の体制が変わり、また、世の中の状況も変化している中、保育者と保護者がそれぞれの考えをお互い発信しあえる場を設ける等、風通しの良い関係を築いていくことが大切である。

・預かり保育の枠が明確になったことで、預けるのが困難になったという1号認定保護者の声をよく聞く。1号認定でも短時間勤務等で働いている方もいるので、2号認定の方との差を考えてほしい。

・教員の退職者数が多いのが残念である。

・子どもたち主体のカリキュラムはとても良い。保護者に取り組みを理解してもらえるように内容を報告することや情報発信に努めてほしい。

・年度末からの新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な行事や取り組みが中止・変更となった。その度に、子どもたちのために最善の判断と対応に努めてもらえたことは評価できる。今後も様々な対策が必要と考えられるが、引き続き頑張してほしい。

3 本年度の取組内容及び自己評価

重点取組内容	今年度の重点目標 (Plan)	具体的な取組計画・内容 (Do)	評価指標 (Check)	自己評価 (Action)
1 教育事業	(1) 教育充実のために取り組む	<p>(ア) 遊びを通して主体的・協同的な学びができる保育を強化し、カリキュラムをブラッシュアップする。</p> <p>(イ) 保育内容や体験活動をより充実させ、子どもたちの知的好奇心を高めるとともに、小学校をはじめ他所属との交流を活発にし、学院全体で園児を見守ることで、一貫教育のよさを伝える。</p> <p>(ウ) 敏感期の子どもの自立や自己肯定感を育むモンテッソーリ教育や縦割り保育、横割り保育、その他の体験活動を充実させる。</p> <p>(エ) 担任による日々の宗教教育に加え、シスターによる神さまのお話を実施する。</p> <p>(オ) 幼児体操専門の指導員を招き、心と体の鍛錬と体力の向上を図り、子どもたちの運動能力を伸ばすための体操保育を実施する。 また、幼児英語専門の指導者のもと、ゲームで遊んだり歌ったり、楽しみながら自然に英語や国際感覚を身につける英語保育を実施する。</p>	<p>(ア) 縦割りでの自由制作活動を増加する。 判定：できた ○ 一部できた △ できなかった ×</p> <p>(イ-1) 園児と小学校児童・中学高等学校の生徒との交流を実施する。</p> <p>(イ-2) 園児と他所属教員との交流を実施する。</p> <p>(ウ) 学外講師を招いた体験活動を増加する。</p> <p>(エ) カトリック的価値観を日々の保育の中で活かす。</p> <p>(オ) 幼児体操・幼児英語それぞれの専門指導員のもと保育を実施する。</p>	<p>(ア) 判定：○ 子どもたちが自分で考え行動できるような活動を取り入れた。(テーマを決めた自由制作活動を実施した)</p> <p>(イ-1) 判定：○ 中学高等学校からの海外留学生との交流会、小学校「みんなであそぼう」など、他所属との連携を図ることができた。</p> <p>(イ-2) 判定：△ 学院全体の避難訓練時に実施したが、今年度はこの一度だけしか交流を図ることができなかった。</p> <p>(ウ) 判定：○ 演劇鑑賞・奈良フィルハーモニーによる音楽鑑賞、書道体験等の体験活動を実施した。</p> <p>(エ) 判定：○ 定期的にシスターによる神様のお話を実施した。また、神父様を招き、子どもたちに神様のお話をしていた。</p> <p>(オ) 判定：○ コヤマスポーツスクールに体操保育を業務委託し、子どもたちの運動能力を伸ばすことができた。また、体操保育に必要な知識や技術を教員が学ぶこともできた。また、併設中学高等学校の教員による「マティイングリッシュ」を実施した。</p>

	<p>(2) 教員のレベル向上</p>	<p>(ア) 教員スキル向上研修や公開保育、メンタルヘルス対策、学校カウンセラーによる教育相談を実施する。</p> <p>(イ) モンテッソーリディプロマ保持者による指導方法の伝授や教材作成を実施する。</p> <p>(ウ) 神父様や宗教担当者による研修を実施し、カトリック教育の理解を深める。</p> <p>(エ) 新任研修、保育参観指導研修を充実させる。</p>	<p>(ア) 学校カウンセラーによる研修・教育相談の実施する。</p> <p>(イ) 新任研修を含めたモンテッソーリ研修会を実施する。</p> <p>(ウ) 定期的な教員向けの宗教研修を実施する</p> <p>(エ) 新任研修・保育参観指導研修等を実施する。</p>	<p>(ア) 判定：○ 定期的な研修や学校カウンセラーによる教育相談を実施した。</p> <p>(イ) 判定：○ 年間6回以上のモンテッソーリの内部研修を実施した。</p> <p>(ウ) 判定：○ シスターによる宗教研修に加え、神父様をお招きし、宗教研修を実施した。理解を深めるためにはより研修を重ねる必要がある。</p> <p>(エ) 判定：△ 主幹教諭が各クラスを見回り、必要に応じて指導をいれた。保育の質を保ちながら、各教員のメンタルや経験値にあわせて指導をすることが今後の課題である。</p>
<p>2 教育環境の整備</p>	<p>(1) 子どもたちは毎日過ごす環境を、明るく・美しく・安全に整える。</p>	<p>(ア) 定期的な安全点検（園舎・園庭・遊具等）を実施する。</p> <p>(イ) 自家用車送迎を希望する家庭には、毎年度申請制とし、「立体駐車場使用許可証」を発行する。</p> <p>(ウ) 自転車通園・徒歩通園の家庭には、マナー登降園指導を実施し、安全管理に努める。</p>	<p>(ア) 月始めの各所安全点検を実施する。</p> <p>(イ) 本学院内に車で入構する場合は許可証をフロントガラス内側に呈示するよう徹底し、安全管理に努める。</p> <p>(ウ)、マナーを守って安全に登降園できるよう、教員が迎え入れや送り出しをする。</p>	<p>(ア) 判定：○ 園務分掌にて役割を決め、定期的に安全点検を実施することができた。</p> <p>(イ) 判定：○ 保護者に、自家用車での通園には必ず「立体駐車場使用許可証」を提示するよう促した。また、近隣（ファミリーマート等）に無断で駐車する在園児の車を取り締まり、指導をいれた。昨年度からの呼びかけにより、定着してきた。</p> <p>(ウ) 判定：○ マナーを守って安全に登降園できるよう、教員が迎え入れや送り出しをするようにした。</p>
<p>3 社会連携・奉仕事業</p>	<p>(1) 地域との連携や子育て支援の充実を図る。</p>	<p>(ア) 地域子育て支援のイベント「みんなであそぼう」を定期的にも実施する。</p>	<p>(ア) 地域子育て支援のイベントを年間12回以上（園庭開放を含む）実施する。</p>	<p>(ア) 判定：△ 新型コロナウイルス感染症感染拡大予防（緊急事態宣言時など）のため、予定していた回数を実施できなかった。</p>

<p>4 募 集 に 係 る 事 業</p>	<p>(1) 募集活動の強化</p>	<p>(ア) 2020年度の募集を強化し、こども園としてのたくさんのお子もたちに保育を提供する。</p> <p>(イ) 2020年度用に新たに作成した園案内を、説明会出席者や来園者に配付する。</p> <p>(ウ) ホームページをブラッシュアップする。</p> <p>(エ) 子育てための場所を提供し、来園者を増やす。</p>	<p>(ア) 2020年度入園受け入れ人数を90名とする。</p> <p>(イ) 新しい園案内を作成し、説明会出席者や来園者に配布する。</p> <p>(ウ) ホームページのデザイン・掲載写真の更新</p> <p>(エ) 園庭開放を実施する。</p>	<p>(ア) 判定：× 2020年度の入園者数は80名となり目標達成には及ばなかった。昨年に引き続き、園児数に対して教員数（加配教員も含む）が不足しているのが現状である。園児数の確保のためには教員数の確保が必要である。</p> <p>(イ) 判定：○ 園の概要に加え、こども園の仕組みを保護者にわかりやすく掲載した。説明会出席者や来園者に配布した。</p> <p>(ウ) 判定：○ ホームページ上の写真の更新や日々のブログを更新し、最新の情報を提供するようにした。</p> <p>(エ) 判定：△ 域子育て支援イベント「みんなであそぼう」と同様に園庭開放を実施したが、新型コロナウイルス感染拡大予防について、箕面市からの指示により、一部実施を中止した。</p>
	<p>(2) 関係各所との連携</p>	<p>(ア) 一人ひとりをきめ細やかに見守り、大切にす一貫教育のよさを活かす。</p> <p>(イ) 内部進学制度（園長推薦）の構築とその周知徹底をはかる。</p> <p>(ウ) 小学校との計画的な交流や連携を強化し、幼小一貫教育に力を入れる。</p>	<p>(ア) 園から併設小学校へ進学する子どもたちへの丁寧な申し送りをする。</p> <p>(イ) 園長推薦説明会と併設小学校からの内部向け説明会を実施する。</p> <p>(ウ) 園と併設小学校とがつながりのあるカリキュラムを構築する。</p>	<p>(ア) 判定：○ 内部進学する子どもたちの状況を小学校と情報を共有し、卒園後も引き続き細やかな配慮ができるように話し合いの場を持った。</p> <p>(イ) 判定：○ 少しずつ園長推薦制度が定着し、内部進学者は今年度14名までであった。（加えて併願での進学者4名）</p> <p>(ウ) 判定：△ 現在構築中であり、2021年度から学院全体としての教育指針のもと現在準備を進めている。</p>